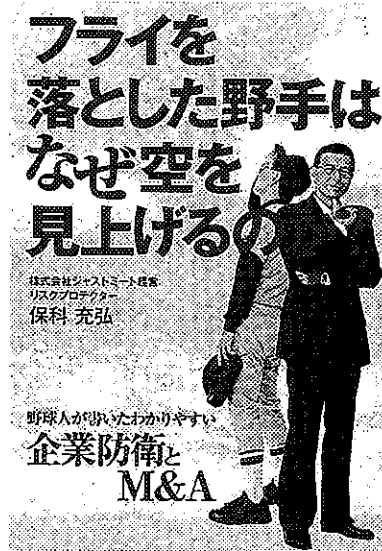


本・読書 2008年(平成20年)4月6日(日曜日)



「フライを落とした野手はなぜ空を見上げるのか？」

・1395円  
(幻冬舎ルネッサンス)

フライを落とした野手はなぜ空を見上げるのか？

保科充弘著

慶大時代に準硬式野球

をやり、大手銀行から独立してM&Aアドバイザーを生業とする筆者らしく、野球のプレーとビジネスをミックスした異色の一冊。人は自己保身の

ために言い訳を考える。野球でフライを捕り損ねると野手が空を見上げるのは、白球と太陽が重なったからだという言い訳と重なる。

そこで「言い訳で自分の立場を守っても会社を守ることはできません」とし、意味のない言い訳は無駄と、はっきり。大人の世界は厳しいことがあらためて分かる。